

まほろば秦野通信

平成27年7月28日

秦野市市長室広報課

タイトル	<p align="center">市指定無形文化財 盆の伝統行事 「瓜生野百八松明(うりゅうのひやくはったい)と盆踊り」</p>
<p>When (いつ)</p> <p>Where (どこで)</p>	<p>8月14日(金) ※雨天の時は15日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午後3時～ 松明作り(南矢名上部町内会館周辺) ・午後7時～ 松明点火(権現山山頂～龍法寺門前へ移動) ・午後8時～ 盆踊り(南矢名上部町内会館) <p>※駐車スペースが狭いため、取材希望の方は事前に広報課までご連絡ください。</p>
<p>Who (だれが)</p>	<p>瓜生野百八松明保存会(山口多美子会長)</p> <p>瓜生野盆踊り保存会(小林理恵子会長)</p>
<p>What (なにを)</p> <p>How (どのように)</p> <p>Why (なぜ)</p>	<p>江戸時代中期から続いている「百八松明」。これは旧盆に、五穀豊穡と悪疫退散を祈願し、地域の保存会が大松明をかつぎ、権現山からふもとの龍法寺まで駆け下り、門前で松明を振り回す勇壮な民俗行事。合わせて、江戸時代から伝えられている「瓜生野盆踊り」も保存会により披露されます。瓜生野百八松明は昭和50年8月に、瓜生野盆踊りは昭和52年7月に、それぞれ本市の重要文化財に指定。</p> <p><行事の概要></p> <p>午後3時頃から、保存会のメンバーが麦わらで長さ2～3m・直径30cmほどの大きさの松明を50～60本作り、権現山山頂へ運びます。</p> <p>日が沈む午後7時頃、山頂から龍法寺まで保存会が松明を肩に担いで大きな掛け声とともに下山し、山腹に点々と松明の炎が移動する様子は幻想的。下山後は、龍法寺前で勢いよく松明を振り回し、火の粉が飛び散り、行事の終わりを告げます。</p> <p>その後、南矢名上部町内会館前では、瓜生野盆踊りが始まり、保存会による「若松様(手踊り)」「ささら舟(手拭いを持って)」「おっちょこちよいのちよい(扇を持って)」の3種類の踊りが披露されます。</p>
<p>その他</p>	<p>虫追い行事「下大槻百八炬火(しもおおつきひやくはったい)も開催</p> <p>同じ日に水田耕作が盛んな下大槻地区でも「百八炬火」という虫追い行事が、下大槻百八炬火保存会(原孝道会長)の手によって行われます。</p> <p>あぜ道に並べられた百八のわらに火がつけられ、神輿や旗、太鼓囃子が練り歩き、「斉藤実盛様」の人形を焚き上げ、米の豊作と無病息災を願います。虫追いの行事も、県下では数少なくなっています。</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>教育部生涯学習課 文化財担当 担当：霜出</p> <p>電話0463(87)9581</p>